

社会教育拠点施設基本構想

各ターゲット層のストーリー

2025年3月



鳥取県西伯郡大山町



- (1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ
- (2) 各ターゲット層のストーリー
 - ①小中学生の利用イメージ
 - ②高校生・大学生の利用イメージ
 - ③20～50代の子育て層の利用イメージ
 - ④20～50代の非子育て層の利用イメージ
 - ⑤60代～の利用イメージ
 - ⑥拠点運営側の利用イメージ（20～50代）
 - ⑦拠点運営側の利用イメージ（60代～）
 - ⑧付加価値を生み出すストーリー（メイン拠点・全世代）
- (3) 社会教育拠点施設のコンセプト

(1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ

(2) 各ターゲット層のストーリー

- ①小中学生の利用イメージ
- ②高校生・大学生の利用イメージ
- ③20～50代の子育て層の利用イメージ
- ④20～50代の非子育て層の利用イメージ
- ⑤60代～の利用イメージ
- ⑥拠点運営側の利用イメージ（20～50代）
- ⑦拠点運営側の利用イメージ（60代～）
- ⑧付加価値を生み出すストーリー（メイン拠点・全世代）

(3) 社会教育拠点施設のコンセプト

(1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ



最終成果物とプロセスイメージ

成果物 イメージ

- ①コンセプト（公民館のあり方）
 - ②拠点設置（既存施設含む）の方針（コンセプト・役割・機能）と具体的なエリア（区域候補）
 - ③既存活動団体・新規活動団体等の関係性の整理と具体的活動の拠点（受け皿）
 - ④運営・人材面の計画（公民館を活用したプログラムを促進する職員[企画人材・キュレーター]の採用・育成やスキルアップ）
 - ⑤規模感、建設の方法（新築・既存施設の耐震化等）（具体的な機能）
- ※⑤の部分は、社会教育拠点施設基本計画にて検討を行う。

プロセス イメージ

- ①コンセプト作り
 - 施設（公民館）あり方、アイデア（どういう人達がいて、どういう働き方や暮らしをしているか）
 - 今後の世の中の流れ・変化
 - 同時多発的に色々なエリアで自主的な活動が起きていく（ボトムアップ的に起きていく）
 - 上記活動を下支えする、ハード面・ソフト面をどう整えるか
- ②ドラフト作成
 - ①をまとめ、② + ③ + ④ 検討



(1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ

策定プロセス全体の流れのイメージ





(1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ

(2) 各ターゲット層のストーリー

- ①小中学生の利用イメージ
- ②高校生・大学生の利用イメージ
- ③20～50代の子育て層の利用イメージ
- ④20～50代の非子育て層の利用イメージ
- ⑤60代～の利用イメージ
- ⑥拠点運営側の利用イメージ（20～50代）
- ⑦拠点運営側の利用イメージ（60代～）
- ⑧付加価値を生み出すストーリー（メイン拠点・全世代）

(3) 社会教育拠点施設のコンセプト

(2) 各ターゲット層のストーリー

ターゲット層のストーリーとコンセプトについて

◆ターゲット層のストーリーについて

- すべてのストーリーは、**アンケートやヒアリング結果から見えてきた『現状抱えている課題を解決するため』**に作成された内容。
- **ストーリーはあくまで施設活用の理想のイメージ。**
今後の社会教育拠点施設**基本計画策定**時における具体的な内容の検討の際に持っておきたい理想の施設活用のイメージ。
- 考えた**ストーリーを参考に必要な施設、必要な機能・設備を検討**していく。

(2) 各ターゲット層のストーリー

メインターゲットである小中学生の日常生活の困りごとや抱えている課題

メインターゲットが抱える困りごと

小学生
中学生

- いつも子どもが**集まらない**（個人宅使えない、友達の家が遠い）
- 家の近くに**安心できる居場所がない**
- （特に雨の日に）家以外の**居場所がない**
- 平日、家に帰っても共働きで親がおらず 1人で過ごす → 夕方、お腹が減る
- 同世代以外との**つながりがない**
- 児童クラブに行けない

困りごとによる生活への影響

- 家の近くに**安心できる居場所がない**ので**友人とも遊べずストレス**がたまる
- **ゲームやネットへの依存**
- 親は**安心して仕事ができない**
- **空腹でイライラする、やる気が出ない**
- 友達や大人とかかわることのできる**人間関係が築けない**



(2) 各ターゲット層のストーリー

メインターゲットである20～50代の子育て層の日常生活の困りごとや抱えている課題

メインターゲットが抱える困りごと

20-50代
(子育て)

- いつも町内に気軽に行ける場所がない
- 子育てや仕事に**疲れている**
- **悩み**がある（悩みを相談できる場がない）
- 子どもを連れていく場所がない
- 雨の日は買い物ぐらいいしか**選択肢がない**
- 気分転換できるところがない

困りごとによる生活への影響

- 疲れが引き起こす**負の循環**になってしまう
- **安心、安定した生活ができない**
- 休日の子どもと大人の**ストレス**
- 雨の日の子どもと大人の**ストレス**
- ストレスが引き起こす**様々な人間関係のひずみ**（夫婦間・親子間・虐待など）



(2) 各ターゲット層のストーリー

メインターゲットである60代～の日常生活の困りごとや抱えている課題

メインターゲットが抱える困りごと

60代～

- いつも町内に気軽に行ける場所がない
- 親の介護がある
- 退職後、することがなく家にいる
- 人とかわるきっかけがない

困りごとによる生活への影響

- 親の介護のため、家から出ることができず、**家族にストレスがたまる**
- **認知症の危険性**が高まる
- 近所づきあいもなく、つながりがないため**孤立してしまう**。(→**孤独は病気になるリスクが高い**)



①-1 小学生の公民館利用ストーリー (1)

場所・機能

ヒト

コト

①小学生の公民館利用ストーリー『地域とつながるサードプレイス』

さとし君は**小学3年生の男の子**。雨が降っていたので、学校からクラスの友達と近くの公民館（分館～サテライト拠点）に立ち寄ってみる。そこには、**高齢の方**がいたり、**子育て中のママさん達**が集っている。

夕方でお腹がすいたので、**地域の方が焼いて販売されているクリームパンを腹ごしらえに食べる**。遊ぶ前に**宿題**に友達と一緒に取り組む。算数の難しい問題があったので、困っていたが、**友達の中학생のお兄さん**がたまたまいたので、聞いてなんとか解答できた。

宿題を片付けると、**館内で自由に使えるカードゲームで遊ぶ**。しばらく遊んで飽きてきたので、**図書コーナーにある本を読んで**過ごす。

気付くと、もう17時半になっている。働いている**親**が18時に公民館に車で寄ってくれるので待ち合わせて家路に着いた。



① -1 小学生の公民館利用ストーリー （２）

場所・機能

ヒト

コト

①小学生の公民館利用ストーリー『放課後の友だちとの居場所』

4年生の男子しゅんくん。学校は13:30の早帰り。一度帰宅しゲームを持って近くの公民館（分館～サテライト拠点）で**友だち**と**待ち合わせ**。しばらく**ゲームで遊ぶ**が、スイッチに飽きてきたので、公民館の隣にある**広場**で**鬼ごっこ**をして楽しんだ。

途中雨が降ってきたので館内に移動し、**ロビーの自販機**で**ジュースを買ったら**、ロビーでたまたま出会った**近所のおばあちゃん**に**お菓子をわけてもらっておやつタイム**。

17時になったので、**友だち**と館内で行われている**低料金で提供される子ども食堂**で**おいしい夕食を食べる**。お母さんも子ども食堂で合流し帰宅する。



① -1 小学生の公民館利用ストーリー (3)

場所・機能

ヒト

コト

①小学生の公民館利用ストーリー『ひとつの目的のためにみんなで集まれる場所』

6年生の女子はるかさん。学校から**クラスみんな**と近くの公民館（分館～サテライト拠点）のロビーに寄ってみた。

そろそろ卒業式も近いので、**公民館のフリールーム**で**みんなで卒業式の先生へのサプライズプレゼントを作成**。
ハサミ、テープ、定規などを忘れたので**公民館の人に貸してもらう**。

次の日は土曜日なので朝からまた集まろうということになり、**お弁当を持って公民館に集まる**約束をして解散。

帰りは自転車で帰れないので、**デマンドバス**の時間まで**図書スペース**で好きな**本を読んで過ごす**。

お母さんが予約してくれた**デマンドバス**で家まで帰った。





小学生の公民館に求める人・コンテンツ・機能

小学生の公民館に求める人・コンテンツ・機能				
メイン	大人がいる安心		自由に学ぶ	いつでも遊ぶ・楽しむ
	待ち合わせ時間もお腹が空いてもお迎えを待っていても安心		学校の宿題や調べものができる、勉強を励ましてくれる人がある	雨の日も晴れの日と同じように友達と楽しめる
コンテンツ	間食・夕食		いっしょに勉強	鬼ごっこ
	おやつタイム		本	ゲーム・カード
人	公民館の職員	子育て中のママ	中学生のお兄さん	友達
	近所のおばあちゃん	母親	クラスのみんな	
機能	デマンドバス停留所		フリールーム	屋根付き運動スペース
	ロビー	自分で行ける	備品の充実	自販機・駄菓子屋
	子ども食堂		図書スペース	パン屋さん 広場

①-2 中学生の公民館利用ストーリー （１）

場所・機能

ヒト

コト

①中学生の公民館利用ストーリー『雨の日も飽きずに過ごせる場所』

中学2年の男の子こうくん。土曜日、朝から雨が降っているがサッカーがしたいので、親に車で送ってもらって近くに広場付きの公民館（メイン）で友だちと待ち合わせ。

広場には町が運営している屋根付きの多目的運動スペースがあって友だちとサッカーをして遊ぶ。そこには、バスケットボールのゴールもあり、バスケットをしている友だちもいた。

お昼は公民館に移動パン屋さんが来ており、パンとドリンクを買って、お弁当を持ってきている友だちと一緒にフリースペースで食べる。

午後は、自習室にこもって宿題。ここには、ボランティアの高校生や大人のボランティアがいてに分からないことは自由に聞くことができる。小腹を満たすため館内で販売されている駄菓子購入。夏休み中は中学生も運営協力ができる。宿題が終わったのでパソコン室でパソコンを開き、自分の将来なりたい職業についているSNSの動画を見ながら未来に思いを馳せる。

帰りは18:00ごろ父親に迎えに来てもらい、帰宅した。



① -2 中学生の公民館利用ストーリー (2)

場所・機能

ヒト

コト

①中学生の公民館利用ストーリー『ひとりの時間も大切にできるサードプレイス』

りのさんは**中学3年生の女の子**。受験も控えおり、学校から公民館（分館～サテライト拠点）には下校でも行けるので、授業が終わるとすぐ、近くの**公民館の自習室**に**自転車で行く**。

お腹が減ったので、**調理室で地域の方が焼いたクリームパンを地域コミュニティ喫茶で購入し腹ごしらえに食べる**。集中が切れたので、**無料Wi-Fi**を活用し、**SNSの動画を見てリラックス**する。

気付くと、もう6時半になっている。迎えを呼んで、母親の車に**自転車に乗せて帰宅**した。



① -2 中学生の公民館利用ストーリー (3)

場所・機能 ヒト コト

①中学生の公民館利用ストーリー『学校ではできないこともできるサードプレイス』

かずやさんは**中学3年生の男子**。**地域住民の方が主催するアグリ起業部という事業に参加**している。町内各地から10名程度中学生が参加している。春から作物を育て、秋になりそろそろ収穫を迎える時期。**公民館（メイン、分館～サテライト拠点）主催でマルシェがあるので、加工品を販売しようと出店の企画**をした。**当日はたくさんの方々に支えられながら準備して物は完売**できた。

モノを売るという経験は初めてで楽しかった。**売り上げは打ち上げと次の事業への資金に回そう**とみんなで決めた。来年も待ち遠しい。





中学生の公民館に求める人・コンテンツ・機能

中学生の公民館に求める人・コンテンツ・機能				
メイン	大人がいる・安心		自由に学ぶ	いつでも遊ぶ・楽しむ
	子どもにとっても親にとっても、施設に大人がいることの安心		勉強や調べものができる、励ましてくれる人がある	雨の日も晴れの日と同じように友達と楽しめる、室内も充実
コンテンツ	昼食・間食		本を読む	サッカー・バスケなど
	職員の見守り		パソコンを使う	SNS動画など
人	公民館の職員	親	ボランティアの高校生・大人	友達
	パン屋の人 駄菓子屋の人	コミュニティ カフェの人		
機能	食事できる場所		フリースペース	屋根付き運動スペース
	親に迎えに来てもらう		自習室・パソコン室	無料Wi-Fi
	パン屋さん・カフェ・自販機		図書スペース	

②高校生・大学生の公民館利用ストーリー（１）

場所・機能

ヒト

コト

②高校生・大学生の公民館利用ストーリー『地元の友達とつながるサードプレイス』

ヒカルくんは、倉吉市内の高校に通う**高校1年生**。部活動は特にしていない。放課後や休日は、スマホで動画を見たり友達とオンライン対戦ゲームをしたり過ごすことが多い。**中学生のころから仲のいい友達**とも対戦することが多いが、学校が米子方面なので直接会う機会は減っていた。

週末に久しぶりに**地元で会おう**という流れになったが、家は家族がいて落ち着かないし、地元だと集まれる場所がないという話に。そんな時にふと**SNSを見たら地元の同級生が新しくできた複合施設（公民館（メイン））に行ってみたという良い感じの写真が上がっていたのを見て一緒に行ってみる**ことに。

おしゃれで**いい感じのフリースペースが無料で使え**気分も上がるし、**仕切り**もあって**周りの目を気にせずゆっくり話**も出来た。**館内販売でお手頃価格なお菓子と飲み物**もあったので購入し、飲食しながら**スマホで対戦ゲーム**をしていたら思っていたより長居していた。

楽しかったなのでその様子を**SNSに上げたら他の地元の友達**からリプを貰ったので、**今度はその友達と行こう**と思う。



②高校生・大学生の公民館利用ストーリー（２）

場所・機能

ヒト

コト

②高校生・大学生の公民館利用ストーリー『時間つぶしができ友達とつながるサードプレイス』

米子市内の高校に通うなつこさん17歳。高校ではテニス部に所属している。普段は朝7時台のJRで学校へ行き、帰りは18時過ぎに帰宅。授業の課題と部活で忙しく、**中学時代の友人**と会う機会も減った。

テスト期間は部活もなく、15時くらいに大山町内の駅に到着するが、**両親は働いている**ので、駅の近くで時間を潰すか、徒歩50分の道のりを歩くしかないので、最近**新しくなった複合施設（公民館（メイン））**の**学習室**で時間を潰す。学習室には**Wi-Fi**もあり、**勉強しなきゃ**と思いつつも**動画を観る**。そろそろ帰ろうかなと思ってロビー横の**フリースペース**に行くと久しぶりに**中学のクラスメイト**と出会う。聞けば彼女も**テスト中で、明日もここへ来る**とのこと。お互いこれからの進路に不安があるが、**職員さんが相談に乗ってくれる**。

明日ここで**待ち合わせ**して、**SNS動画を撮影する約束をする**。明日はお小遣いを持って、施設内の**カフェ**で**パフェを食べよう**と思う。



②高校生・大学生の公民館利用ストーリー（３）

場所・機能

ヒト

コト

②高校生・大学生の公民館利用ストーリー『帰省中でも活動の場があるサードプレイス』

島根県の大学に通う大山町出身の大学2回生のしょうたさん。8月～9月の二か月間、夏休みで地元に戻ってきている。

新しくできる公民館（公民館（メイン））が小中学生に勉強を教えたりいっしょに運動をするアルバイトを募集していたので、自身の経験や就職活動の材料にもなると思い活動に参加。毎日子どもたちといっしょに遊ぶことができ楽しい。小中学生が来ない土日は自身のレポートを集中して進めるため、公民館の電源・Wi-Fi完備の自習室にこもる。館内には就職や職業サポートもあり、職員や地元就職した若い大人の方が話を聞いてくれる。

その日は週に一回だけオープンするチャレンジカフェで地元の人を作るスパイスカレー屋さんが出店していたので、半年ぶりに会う地元の就職した友だちと一緒にスパイスカレーのランチを食べる。セルフカフェで友人とコーヒーを飲みながらおしゃべりしてしまったので、レポートはあまり進まなかった。





高校生・大学生の公民館に求める人・コンテンツ・機能

サブ	地元・安心する アルバイト	自習・学ぶ・ひとりでも	清潔感・楽しむ・立地
コンテンツ	地元で過ごせることや公共施設で迎え待ちの安心感。町に活躍の場がある。	お迎えまでの時間の有効活用や集中して自習ができる。小中学生に勉強を教える事業への協力。	清潔感があって、良い感じの飲食店がある。便利の先におしゃれ感。
	友達SNS（情報）	自習・レポート作成	飲食
人	ボランティア活動	空き時間の活用に自習	一緒におしゃべり・スマホ
	地元の人の出店 地元の同級生・就職相談 ボランティアの大学生	小中学生	中学校の友達
機能	自分	学習スペース	地元の同級生
	フリースペース カフェ・駄菓子屋	フリーWi-Fi	カフェ・出店スペース フリーWi-Fi

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー（１）

場所・機能

ヒト

コト

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー『趣味を謳歌できるサードプレイス』

太陽さんは**町内在住（実家暮らし）の20代男性**。普段は米子市内の住宅工務店でプランニング・設計の仕事をしており、音楽が趣味でギターを弾き語ったり、**友人とバンド**を組んだりしている。

ライブ開催に向けて練習するため、仕事終わりに**複合施設となった公民館（公民館（メイン））**へ行く。**防音施設や音響設備が整っており、窓からのロケーションもよくおしゃれで洗練された空間**の中で練習ができ、**創造性を掻き立てられる**。先日のライブでは、**この施設で声をかけてくれた方が遊びに来てくれた**。

練習後、併設された**カフェ**で一息つきながら、**美しいロケーション**を背景に**コーヒーを片手に写真を撮りSNSにアップ**する。

図書館で本を借り、フリースペースで1時間ほど読書をした後、最近購入した愛車で帰路に着く。



③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー（2）

場所・機能

ヒト

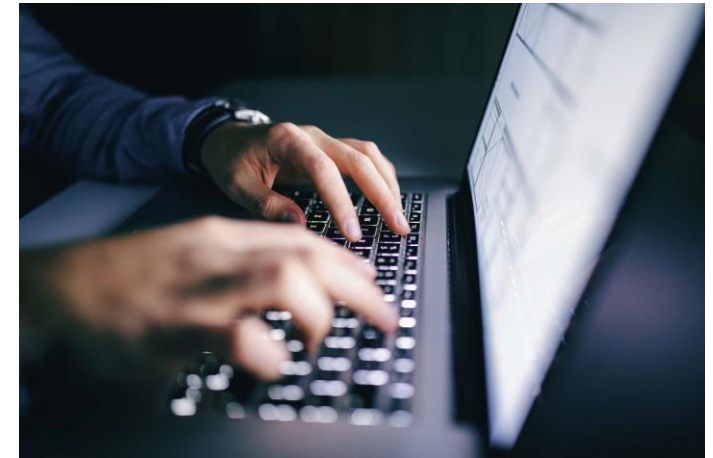
コト

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー『仕事も行えるサードプレイス』

たかしさんは**独身の28歳で、IT関連の仕事**をしている。休日ではあるが、整理しなければならない資料があったので、車で10分の**複合施設となった公民館（公民館（メイン））**に行くことにした。そこは、**フリーWifiが完備され、コワーキングスペース**もあるのでよく利用している。**高校生も含めすでに3名程度の若い方がPCに向き合って作業している。**

カフェでコーヒーを注文し、コーヒーを片手に**個別に仕切られた席**に着く。ここでは、**飲み物は低料金で飲めるよう配慮がなされている**のでお気に入りの場所である。

ふと顔を上げると、**高校の同級生**がいることに気づき、声をかけ**フリースペース**で話をすることにした。部活も一緒だったこともあり、昔話に花が咲いたが、普段は特に何もしてない二人で**刺激が欲しいとお互い感じていた。**ふと館内のデジタルサイネージを見ると大山おとなの研究部の情報を得た。テーマが探求と創造。**昔一緒にやっていたダンスを仲間を募ってやりたいねと意気投合し、SNSのDMを送った。**気が付くと、18時。資料作りも無事に終わったので、家路につくこととした。



③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー（3）

場所・機能

ヒト

コト

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー『スキが満喫できるサードプレイス』

大山町出身・在住の、りなさんは32歳で独身。米子で銀行員の仕事をしていた、用事がない時は毎日18時30分ごろ大山町に帰ってきている。趣味はスポーツ観戦。仕事終わりの時間に、公民館（公民館（メイン））の中にある広いスペースでサッカーワールドカップの日本戦をパブリックビューイングを開催するというので、地元の幼なじみたちと参加。特別にアルコールと食事の提供もあるが、ノンアルコールと簡単なおつまみをいただきながら、会場にいる人たちと盛り上がる。

テンションが上がったあとはクールダウンのため、屋外にある足湯で一休み。星を見ながら幼なじみたちと久しぶりにおしゃべりする。そろそろ同窓会でもやろうか、という話になり、この公民館は飲食も可能なので借りてまた利用することになるだろうと思いを馳せる。



③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー（４）

場所・機能

ヒト

コト

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー『行きたいがあるサードプレイス』

りえさんは、**夫と2人の30代の夫婦**。今日は休日。マルシェをしているという、**車で10分**の場所にある**新しくなった公民館（公民館（メイン））**に行くことにした。そこでは、**玄関前の広場をうまく活用しスペースを作り、地域の手作り野菜や加工品、食べ物屋さんなど、マルシェが行われたくさんの出店者と来場者**で賑わっていた。ほかに、**高校生がチャレンジショップ・フリーマーケットなど人を集める工夫**がなされていた。夫と一緒にカレーを注文し、**施設内のフリースペース**で昼食を済ませる。

施設内のデジタルサイネージをみるとカラオケ大会のお知らせを見る。カラオケは共通の趣味だったので2人で参加しようかと思い、**施設の職員**に内容を尋ねる。**職員はとても感じのいい方で、やさしく丁寧に教えてくださり、ホスピタリティが素晴らしい**また機会があれば来ようと思った。帰りに野菜も購入し、家路に着いた。



③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー（5）

場所・機能

ヒト

コト

③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー『ゆっくり過ごせるサードプレイス』

あやさんは、夫と子ども3人（25歳・28歳・30歳）を家族に持つ**50代のお母さん**。子どもたちは成人・就職し、子育てを終え、平日は夫とゆっくり過ごし、休日は自由な時間がたくさんできるようになった。今日は、日曜日。早起きしたので、おいしいパンとコーヒーでモーニングを取りたくなり、**近頃話題のパン屋が併設された車で10分の複合施設となった公民館（公民館（メイン））**に行くことにした。

ここは**地域の方が運営されており、焼き立てパンが有名で平日休日問わずたくさんの人**でにぎわっている。**クロワッサンとバゲットとコーヒーを購入し、席に着く。**この公民館には**図書コーナー**もあり、**生活情報の雑誌を読みながらゆっくりと朝食をとった。**その雑誌には素敵な手作り小物入れが掲載されており、**夫に作ってもらうことにした。**

何冊かDIYの本を借り、早速材料を購入するため、10時30分ごろに公民館を出てホームセンターへ向かった。



③20～50代の非子育て世帯の公民館利用ストーリー

20～50代の非子育て世帯の公民館に求める人・コンテンツ・機能				
サブ	選択肢になる⇄ 公民館でなくてもよい	買い物（目的）	自然にできる交流	
	好きなこと、欲求が満たせる	ほしいものが買える	自然なつながりがうまれる空間	
コンテンツ	趣味	本を借りる・読む	バンド練習・ダンス	
	仕事	パンなど	パブリックビューイング	
	読書	マルシェなど	ゲーム大会	足湯
人	公民館職員	運営する住民	ノンアル・アルコール	SNS
	友達 利用者		幼馴染	高校の同級生
機能	フリースペース コワーキング	多目的エリア	会場にいる方々	公民館職員
	図書スペース カフェ Wi-Fi	飲食店	音響施設・防音	つながるきっかけ
			ロケーション	多目的エリア

④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー（1）

場所・機能

ヒト

コト

④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー『疲れを癒せるサードプレイス』

りえさんは、**夫と子ども2人（2歳・5歳）**を家族に持つ**30代のお母さん**。平日は、夫と交代制で保育園の送り迎え、夕食の準備を行い、子どもを風呂に入れ、就寝するという忙しい日々を送っている。

今日は木曜日。朝のうちに家事を済ませ、10時ごろに2歳の子どもと一緒に**車で5分の複合施設となった公民館（公民館（メイン））**に行く。そこには、**幼児向けの遊べるスペースと軽食ができるカフェ**があり、たくさんの**子ども連れのママさんが集まっている**。ここは、**子どもと一緒に自分のこともできるお気に入りの場所**。

早速ママさんたちの輪に入る。**子どもは基本自分が見るが、施設の方もフォローをしてくれるので、安心して目の届く範囲の子どもスペースで遊ばせることができる**。**カフェで紅茶を頼み**、子育て中の**ママみなさんと楽しい話をして、気分がリフレッシュ**する。

また、図書コーナーで、**一人読書**も行うことができ、**日々の疲れをいやす**ことができる。**子どもと一緒に食事**も済ませて、15時ごろ家路に着いた。



④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー（2）

場所・機能

ヒト

コト

④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー『育児と仕事が両立できる場所』

けいすけさんは、妻の両親、妻と子ども1人（10歳）の**5人暮らしの40代のお父さん**。平日は職場が遠いこともあり子どもが起きるころには出かけ、残業も多いため子どもが寝るころに帰宅するので子どもとの時間をあまりとれない慌ただしい日々を送っている。

土曜日午前中、子どもが通う**囲碁サークル**への送迎で**車で15分**の**複合施設となった公民館（公民館（メイン））**に行くことに。一度家に帰りリモートで残っていた仕事を処理するつもりだったが、複合施設に**コワーキングスペース**があったので利用してみることに。**カフェが併設**されていたのでコーヒーを購入し、持ち歩いていた**ノートPCで作業をする**。この施設は**コピー機やロール紙の印刷機など設備が充実しており、フリーランスや自営業の方も多く利用されている。ハンモックなど椅子も多彩**。コワーキングスペースは**静穏性が保たれ**集中でき、子どもが帰るころには仕事が片付いた。ここは子どもと一緒に楽しむことができる施設である。**施設内の図書館**で子どもとそれぞれ**本を借り**午後は自宅で**一緒に読書して過ごした**。

リモートワーク出来る職場だったが自宅では集中できないので利用していなかったが、通勤時間が節約できる分、平日にも子どもと接する時間も取れるので、**今後はたまに利用してみよう**と考えている。



④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー（3）

場所・機能

ヒト

コト

④20～50代の子育て世帯の公民館利用ストーリー『地域の顔が見える施設』

友和さん（**20代：町内勤務**）は妻（**20代：米子市内勤務**）と子ども（**3歳：町内保育所**）と暮らしている。

平日は共働きのこともあり、子どもを保育所へ送り仕事へ向かい、夕方迎えに行き帰宅するため、余暇時間は少ない。

土日は夫婦とも休みであるため、庭で遊んだり近所の公園や市内の複合商業施設に出掛けているが、**今日は雨だったため、複合施設となった公民館（公民館（メイン））**へ出かけることに。

自宅からは車で20分かかるが、市内へ出かける時間よりは短く気にならない。施設には**室内遊具**や**子供も利用しやすい図書館**があり、**定年を迎えた地域の方がスタッフとして常駐**して大人目もあり**安心できる場所**である。

館内に入ると**子どもの保育園の友達、友和さん夫婦の知人**も多く利用しており、中には**町内出身米子在住の同級生夫婦**もいた。目の届く範囲の限られた子どもスペースで子ども達を遊ばせ、親は**併設されたカフェ**で頼んだ**お茶を飲みながら井戸端会議に花を咲かせている**。帰り際に掲示板を見ると**子供の同級生の親**が開催している**唐揚げ研究部**なるものを発見し、**記載されていたSNSアカウントをフォロー**した。





④20～50代子育て世帯の公民館に求める人・コンテンツ・機能

20～50代子育て世帯の公民館に求める人・コンテンツ・機能

メイン	子どもの見守り・安心する	学ぶ（子・親：同時に）		楽しむ・ゾーニング
	地域の方の顔が見え、幼児でも遊ばせやすい環境	大人と子どもが共に、また、それぞれに同時に学べる環境		子どもと大人が共にリフレッシュできる環境
コンテンツ	地元雇用が生まれる	本	リモートワーク	子育て茶会でリフレッシュ
	常駐スタッフがいて 遊戯施設	囲碁サークル		サークル情報等の掲示板 公民館事業のSNSをフォロー
人	子守りができるスタッフ	同世代のサークル主催者		子育て中のママさん
	定年を迎えた地域の方	自分		子どもの世代同じ
	同世代の利用者			同世代の利用者（親子）
機能	複合施設	コワーキングスペース	部屋	飲食スペース・カフェ
	静粛性のあるスペース	図書スペース	静穏性	フリースペース
				全天候型子供向遊具
				パーティション

⑤60代～の公民館利用ストーリー（１）

場所・機能

ヒト

コト

⑤60代～の公民館利用ストーリー『新たな活躍の場』

いちろうさんは、**仕事を定年退職し、自分の時間が有効に使える、66歳の男性**。仕事をしている間は、職場の方とのかかわりや、仕事で会う方とコミュニケーションを図れていたが、今は全くなくなってしまったので毎日時間を持て余している。

今日は、最近できた**複合施設化された公民館（メイン）**に行ってみた。ここでは、これまでの公民館のような機能でなく、だれもが使える**フリースペース**があったり、**どんな活動も実施できる柔軟な施設の機能が完備され、備品なども充実**していた。驚いたのが、**大人用のおむつ交換台**があること。誰も取り残さない工夫がなされていて感心した。ふと目をやると、**ビジネススクールの講師募集**のチラシ。町のLINEでも送られてきた。これまで商社に勤めており、多くの部下も抱えてた経験があり、ある程度の人材育成のノウハウは持っている。もしかしたら地域貢献できるかもと思い応募したら採用となった。

ビジネススクールでは、**地域の若い方**の参加があり、**多くの方とつながりができる**ようになった。**自分の能力が、社会に還元できる**ことに新たな喜びを得ることができ、また、**自分の住む地域に自分の居場所ができて、充実した日々**を送っている。



⑤60代～の公民館利用ストーリー（２）

場所・機能

ヒト

コト

⑤60代～の公民館利用ストーリー『高齢者が安心して楽しめる場』

枝里子さんは**80歳の女性**。現在は夫に先立たれ、子どもたちも米子市に家を建て独立しているため**一人暮らし**。週末に娘の車で買い物や食事に出かけるが、平日は時間を持て余し家でテレビを見て過ごすことが多い。以前は友人の家まで自分で車を運転し自分が育てた野菜を持って行ったり出会ったりおしゃべりをする事が多かったが、**免許証を返納**してからはたまに電話で話す程度に。自分一人では食べる量は少ないので野菜作りもほとんどしなくなった。野菜作りをやめてから足腰に衰えを感じるものの、可能な限り介護を受けずに暮らしたいと思い、何か運動を始めたいときかけが欲しかった。そんな中、回覧で回ってきたチラシで**新しくできた複合施設（公民館（メイン））**で**高齢者向けのニュースポーツ教室**があると目にした。複合施設は家から距離があったが**町のデマンドバスで送迎**もあるということで行ってみることにした。**屋内で軽い運動ができる場所**があり、お喋りしながら簡単に出来るものだったので楽しく過ごすことが出来たので**定期的に通うことにした**。

会う機会が減っていた友人たちも誘い、**運動をしながらまた出会っておしゃべりも出来る**ようになった。**定期的に出会える人**が増えたので、家にいる日は以前のように野菜も作り始め、再び友人たちにあげたりもらったりするように。**土日には施設内のフリースペース**で過ごしている若い人も多く、帰りのデマンドバス待ちの間に**顔見知りになって**話すようになった。また、公民館玄関前でマルシェが開かれることがありそこに野菜を提供すると**喜ばれる**こともあり、以前より野菜作りに精を出すようになった。



⑤60代～の公民館利用ストーリー（3）

場所・機能

ヒト

コト

⑤60代～の公民館利用ストーリー『新しい自分を発見』

洋さんは64才、妻と二人暮らし。子どもは地区は異なるが、町内に家を建てて独立。週に2回、定年まで在籍した会社に勤めている。最近スマホでニュースも見れるので、新聞をやめた。たまに気になることがあれば**公民館（分館～サテライト拠点）**に**新聞を読みに行く**。

今日も**公民館の喫茶室**に新聞を読みに行くと、**常連さん**がたくさん。軽く挨拶だけをして席に着き、いつもの**コーヒー200円**を注文する。人とワイワイしゃべるのは苦手だが、みんながおしゃべりしているのを**聞くのは嫌いじゃない**ので、**年配の女性グループ**の隣で新聞を読む。知った人がいたので挨拶すると、お喋りが弾み、いつのまにか時間が経っていた。**たまには人と話すのもいい**。普段は妻としか話す機会がないので、新鮮。

喫茶室にあった料理の雑誌をパラパラとめくり、今日は妻が出かけているので、**昼ごはんをたまには自分で作ってみよう**と思う。帰り際に、窓口横の**デジタルサイネージの広告**で、今度この施設で**カレーイベント**が開催される。また、**男の料理教室も定期開催されていること**を知った。詳細を職員に尋ね、**チャレンジしてみよう**かと、妻に相談してみようと思う。





⑤60代～の公民館に求める人・コンテンツ・機能

①60代～の公民館に求める人・コンテンツ・機能

メイン

新たな挑戦

孤独の防止・安心

新しい自分を発見
ちょっとしたきっかけ

定年後の再チャレンジを促す場

高齢者でも安心して楽しめる場

自分のペースで過ごせる場、場に
和ませる

コンテンツ

ビジネススクールの講師

屋内運動する

コーヒー

おしゃべり

新聞を読みに行く

チャレンジ

高齢者向け
ニュースポーツの実施

男の料理教室

話を聞く

人

地域の若者

友達

新たな友達

たまに出会う
知り合い

常連客

女性グループ

地域の若い人

喫茶室

機能

フリースペース

デマンドバス

各種備品・充実

図書スペース

新聞・雑誌コーナー

デジタルサイネージ

⑥拠点運営側（20～50代）の公民館利用ストーリー（1）

場所・機能

ヒト

コト

⑥拠点運営側（20～50代）の公民館利用ストーリー『人のために活動したいがあるサードプレイス』

のりこさんは、**50代の女性**。5年前から地域のまちづくり団体に所属し、**地域づくり活動への参加や実施を行っている**。今日は、**地域の子育て中のママさんたちを対象にしたお茶会**。**新しく改修された公民館（分館～サテライト拠点）を借りる**ことにした。

ここは、**備品が充実**しており、茶菓子のみ準備して会場に車で向かった。**まちづくり関係の仲間3名と公民館の職員も準備を手伝ってくれて**、さっと会場設営ができた。このスペースは、**クッション性のマットが敷かれ**、小さい子供たちも目の届く範囲で安心して遊ばせることができる。今日は、**7組のママさんと子どもたち**が参加してくれて、日ごろの子育ての事や悩みなど、楽しい時間を提供することができた。**優しい職員さんがいつも声をかけてくれる**。

終了後は、事務室でコーヒーをいただき、**公民館の職員と談話**。今後も、できることから連携していこうと話をした。



⑥拠点運営側（60代～）の公民館利用ストーリー（2）

場所・機能 ヒト コト

⑥拠点運営側（60代～）の公民館利用ストーリー『人のために活動したいがあるサードプレイス』

つよしさんは、**60代の男性**。退職後、3年前から地域のまちづくり団体に所属し、**地域づくり活動への参加や実施を行っている**。団体内の健康づくり部門の部長に任命され、今日は、**健康教室を行う**ので、**新しく改修された公民館（分館～サテライト拠点）を借りる**ことにした。

町の健康推進の担当者と集落からの委員が協力者として、参加してくれる。10時開始の30分前には、**自分の車やデマンドバスなどを使用して参加者が集合**した。健康教室は、町の担当者が主導で行ってくれるので、**会場設営と参加者へのフォローで大きな負担はない**。終了後は、**参加者お楽しみのお茶会**。**施設内の200円コーヒー**などを注文し、世間話に花が咲いた。みんな笑顔である。**信頼が生まれると困りごと相談され自分も必要とされてると感じ、その実感がうれしい**。**手伝いたいという人も声をかけられた**。

終了後は、**準備した備品を片付け**、参加者を見送り、帰宅した。**情報発信も行い次につなげたい**。





⑥プレイヤーの公民館に求める人・コンテンツ・機能

⑥プレイヤーの公民館に求める人・コンテンツ・機能

メイン	困りごとの解決	活躍の場	新しい自分を発見 ちょっとしたきっかけ
	地域活動を実践する	定年退職後の誰かのための活動がある	何もしていなかった日々に心の豊かさを感じる
コンテンツ	子育てママへのお茶会 健康教室	今後についての打合せ 負担に感じることなく	参加者の笑顔 活動の喜びの実感
人	まちづくりの仲間 公民館職員 担当者 子育て中のママさんと子ども	公民館職員 自分	事業への参加者
機能	子ども用遊戯スペース 各種備品・充実 飲食可能なスペース	施設 住民のための事業計画	カフェ

⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー（１）

場所・機能

ヒト

コト

⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー『新たな出会いから新たな価値ができる』

たけしさんは、30代の**男性**。自分の好きなことをたくさんの人に共有して楽しめたいと、**一日店長によるカフェバーの営業**を行うため、**新しくできた複合施設（公民館（メイン））を借りる**ことにした。

そこにはシェアキッチンできるキッチンスペースがあり、道具を持ち込むだけで**自分のチャレンジができるやさしい空間**となっている。町内では飲食できる場所も限られるので、**町内の家族連れがたくさん遊びに来てくれた。**



めぐみさんは、40代の**女性**。パン同好会のメンバーは活動して5年。**シェアキッチンで作ったパンを販売したい**ということになり、**新しくできた複合施設（公民館（メイン））に相談すると展示販売スペースを1日1,000円で借りれるとのことで3日間限定でチャレンジする**ことにした。

シェアキッチンには焼き菓子販売の許可もあり、今後販売の機会も増やそうと仲間と盛り上がった。



⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー（２）

場所・機能

ヒト

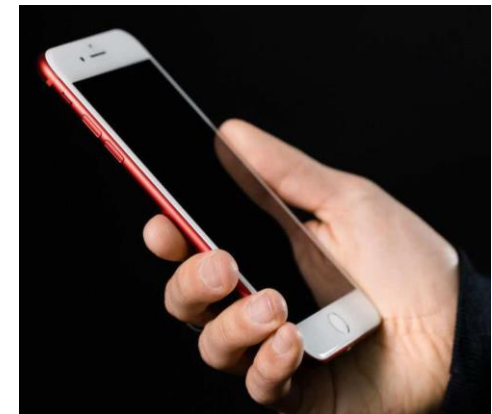
コト

⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー『新たな出会いから生まれる新たな世界ができる』

大山町移住定住フェアでワーケーション制度を知ったあきらさん。家族と1か月間大山町へ。あきらさんは**新しくできた複合施設（公民館（メイン））のテレワークブース**で**仕事**をし、妻と子供は新しくできた複合施設の**イベントスペースで開催される子ども向けのイベントに参加**。ここには**キッズスペースもあり安心して過ごせる場所**。あきらさんは移住することにした。



よしこさんは、60代の**女性**。パッチワーク同好会のメンバーは活動して8年。**公民館の職員からフリーマーケットアプリで売れるのではと声をかけられて販売にチャレンジ**。3日ほどで買い手が付き販売できてみんなで喜んだ。今後もたまに**小遣い稼ぎとして販売してみようとみんなで話し合った**。それを聞いた職員さんが、手作り品の販売の注意点や権利などに詳しい専門家を招いて講習会を開きませんかと提案してくれた。



⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー（２）

場所・機能

ヒト

コト

⑦付加価値を生み出す公民館利用ストーリー『新たな出会いから新たな価値を創造する』

ひさしさんは、40代の男性。新しくできた複合施設（公民館（メイン））のコワーキングスペースで仕事をする。ここにはミーティングスペースも設備され、コーヒー片手に、他の施設利用者の方と意見交換も自由にできる。自分と同じような起業家がいやすい設備が整っており、たくさん集まってくる。他の業種の方の話も気軽に聞けるし、異業種交流会も定期的で開催され、ネットワークも広がり新たなビジネスをすることができそうなアイデアがわいてくる。

新しくできた複合施設は、やってみたい、宣伝したい、デザインしたい、つくりたいなどの第一歩を後押ししてくれる環境が整っている。まさにイノベーションハブ的な場所である。よしこさんは、50代の女性のよしこさんは、今日はチラシ作成の勉強会が企画されているので参加した。写真撮影や資料作成などネット社会で活用できる講座がたくさんあることがうれしい。少しずつできることを増やし、手に職をつけたいと考えている。





(1) 社会教育拠点施設基本構想の成果物と策定プロセスの全体イメージ

(2) 各ターゲット層のストーリー

①小中学生の利用イメージ

②高校生・大学生の利用イメージ

③20～50代の子育て層の利用イメージ

④20～50代の非子育て層の利用イメージ

⑤60代～の利用イメージ

⑥拠点運営側の利用イメージ（20～50代）

⑦拠点運営側の利用イメージ（60代～）

⑧付加価値を生み出すストーリー（メイン拠点・全世代）

(3) 社会教育拠点施設のコンセプト

(3) 社会教育拠点施設のコンセプト

基本構想策定委員会でまとめたコンセプト。基本計画でシンプルにまとめる。

**行きたくなる
場所である**
(行ったほうがいい・
行って損しない)

1. 困りごとやニーズを満たしてくれる (Wi-Fi、**全天候対応**、**食**がある)
2. オープンである (**目的がなくても**ふらっといける、**予約が不要**なく敷居が低い、**自由**)
3. 安心である (親切な人がいる、相談できる、**どんな人にも親切な機能や配慮がある**)
4. アクセスが良い (時間的短さ、**快適な移動**)

**地域の人
が応援しあえる
場である**

1. 新しくチャレンジしたいこと、再びチャレンジしたいことが見つかる場 (**自発的な思いを応援**)
2. チャレンジしたいことが実践できる場 (**自由に学ぶ・ビジネス応援・価値を創造** など)
3. 地域活動を促進し、活動しやすい場 (住民活動の**可能性を育む**)
4. 子どもたちが地域の中で育つことを後押しする場 (**いつでも、どこでも、だれでも**)

**自然と交流が
生まれる場
である**

1. 各世代の施設(場)の利用が活発になることで**自然な世代間交流が生まれる**
(施設に来ることで、**時を共有し**、出会い・つながり・関わり合いが**結果として**できる)
2. 多世代の活動に理解が深まり、**やさしさが生まれる**
(施設で行われていることを体感することで、**関心・興味のきっかけを得る**)

**住民それぞれに、心の豊かさ、安心と生き生きとした暮らし、
多様性への共感、そして、互いへのやさしさが生まれる**